

建築物の定期報告(平成30年)

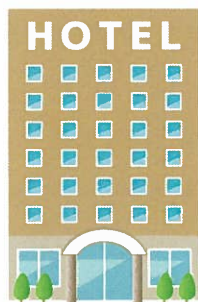
定期報告とは

多数の人が利用するような用途及び規模の建築物等については、いったん事故が発生すると大事故に発展するおそれがあることから、より一層の安全性の確保を図る必要があります。

下記に指定する建築物や建築設備に対し専門技術を有する資格者に調査・検査を依頼し、その結果を特定行政庁へ報告することを義務づけている制度です(建築基準法第12条第1項及び第3項)。

平成30年 報告対象建築物(3年ごとに報告)

● 旅館・ホテル



報告対象の
要件は裏面へ

● 建築物の報告時期

平成30年7月1日
～平成30年12月20日

● 昇降機等及び工作物の報告時期 通年

● 建築設備及び防火設備の報告時期

平成30年4月1日
～平成30年12月20日

報告対象建築設備等(毎年報告)

1. 昇降機等

- エレベーター
- エスカレーター
- 小荷物専用昇降機(フロアタイプに限る)*

2. 工作物

- 遊戯施設等

3. 建築設備

- 換気設備
- 排煙設備
- 非常用の照明装置

4. 防火設備*

*小荷物専用昇降機、防火設備については
H31.5.31までに1回報告。以降は毎年報告。



報告対象の要件は裏面へ

特定行政庁 **佐伯市**

問い合わせ先

佐伯市建設部建築住宅課

佐伯市中村南町1番1号 TEL0972-22-3574

平成28年6月1日から、定期報告の対象が変わりました。

■対象建築物一覧表※

用途	対象建築物	H29	H30	H31	H32	H33	H34
・病院 ・有床診療所 ・高齢者、障害者等の就寝の用に供する建築物	①3階以上の階にあるもの(100㎡超) ②2階の対象用途の床面積の合計が300㎡以上 ③地階にあるもの(100㎡超)			○			○
・劇場 ・映画館 ・演芸場	①3階以上の階にあるもの(100㎡超) ②客席の面積の合計が200㎡以上 ③主階が1階にないもの ④地階にあるもの(100㎡超)	○			○		
・観覧場 ・公会堂 ・集会場	①3階以上の階にあるもの(100㎡超) ②客席の面積の合計が200㎡以上 ③地階にあるもの(100㎡超)	○			○		
・体育館(学校を除く) ・博物館 ・図書館 ・スキー場 ・水泳場	①3階以上の階にあるもの ②対象用途の床面積の合計が2,000㎡以上	○			○		
・百貨店 ・キャバレー ・バー ・公衆浴場 ・飲食店	①3階以上の階にあるもの(100㎡超) ②2階の対象用途の床面積の合計が500㎡以上 ③対象用途の床面積の合計が3,000㎡以上 ④地階にあるもの(100㎡超)	○			○		
・市場 ・カフェ ・ダンスホール ・待合 ・物販店舗	①3階以上の階にあるもの(100㎡超) ②2階の対象用途の床面積の合計が500㎡以上 ③対象用途の床面積の合計が3,000㎡以上 ④地階にあるもの(100㎡超)	○			○		
・旅館 ・ホテル	①3階以上の階にあるもの(100㎡超) ②2階の対象用途の床面積の合計が300㎡以上 ③地階にあるもの(100㎡超)		○			○	

※避難階にのみ対象用途がある場合は、定期報告対象外(避難階とは、直接地上へ通じる出入口のある階)

■対象建築設備等一覧

設備の種類	対象建築設備等	H29	H30	H31	H32	H33	H34
昇降機等	①エレベーター(戸建住宅等は除く) ②エスカレーター	○	○	○	○	○	○
	③小荷物専用昇降機	*1	○*2	○	○	○	○
建築設備	特定建築物に設ける ①換気設備(中央管理方式の空調設備に限る) ②排煙設備(機械排煙設備に限る) ③非常用照明装置(非常用電源内蔵型でないものに限る)	○	○	○	○	○	○
工作物	①観光用エレベーター・エスカレーター ②高架の遊戯施設(コースター等) ③原動機を設け回転運動をする遊戯施設(メリーゴーラウンド、観覧車等)	○	○	○	○	○	○
防火設備	高齢者等の就寝の用に供する建築物のうち、200㎡以上の建築物及び定期報告対象建築物に設置する防火設備(防火戸、防火シャッター等)	*1	○*2	○	○	○	○

*1 小荷物専用昇降機、防火設備については、平成31年5月31日までに1度報告してください。平成31年度以降は毎年報告となります。

*2 平成31年4月1日～5月31日までに報告いただいたものは平成30年度分とみなします。